

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17109007	遺伝的負荷の高い脳血管疾患の遺伝疫学と高リスク者戦略による2次予防	小泉 昭夫 (京都大学・大学院医学研究科・教授)	A
<p>当該研究は、遺伝的負荷の高い脳血管疾患として、脳動脈瘤、Moyamoya 病、脳動静脈奇形の三つに焦点を当て、集積家系の遺伝解析より責任遺伝子を特定する研究であり、脳動脈瘤については TNFRSF13B が同定され、変異も明らかにした。また、Moyamoya 病、脳動静脈奇形についても、連鎖を認める領域を発見している。遺伝解析においては、探索しなければならないゲノム領域は広く、必ずしも短期間で発見されるわけではなく、negative な結果も意味を持ちうる。</p> <p>当該研究は着実に結果を出していることは、Circulation, Stroke, Neurology 等の国際的な一流誌に論文が掲載されていることから明らかである。また、当該研究は、臨床グループとも有機的関係が構築されており、今後、期待どおりの結果が得られるものと見込まれる。</p>			